

2025
秋号

園芸文化

みんなの広場

第45号 2025年9月25日発行



公益社団法人 園芸文化協会

〒113-0033

東京都文京区本郷 1-20-7 安藤ビル 202号室

TEL 03 (5803) 6340 FAX 03 (5803) 6341

E-mail: enbun@soleil.ocn.ne.jp

<https://engeibunka.com>

令和7年度定時総会／ 園芸文化賞表彰式・記 念講演／懇親会

日にち:令和7年6月11日(月)

会 場:東天紅上野店

令和7年度定時総会

6月16日、東天紅上野店において「令和7年度定時総会」を開催しました。



あいさつをする長岡会長



会場に飾られたジャパンフラワーセレクション受賞花の展示(左)と壇上花(右)



長岡求会長の挨拶に続いて第1号議案(令和6年度の事業報告と収支決算)の説明・報告を受けて審議のうえ原案通り可決され(詳細は3ページに掲載)、無事総会は終了いたしました。

令和7年度園芸文化賞 表彰式・記念講演／懇親会

定時総会に引き続き「令和7年度園芸文化賞」の表彰式と受賞者による記念講演が行われ、その後、懇親

会が開かれました。

長岡会長の挨拶に続いて来賓の農林水産省農産局園芸作物課花き産業・施設園芸振興室長の大塚裕一様、国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室企画専門官の峰奇悠様、公益財団法人東京都公園協会事業調整担当部長の大篠則子様よりご祝辞を賜りました。続いて表彰選考会審査委員長の柴田道夫様より審査講評があり、長岡会長より受賞者に賞状と副賞のメダルが贈呈されました。壇上と会場にはジャパンフラワーセレクション受賞花が飾られ華やかな雰囲気が出されていました。



賞状を贈呈されるジャパンフラワーセレクション実行協議会の月山光夫様



柴田審査委員長による審査講評



前列（受賞者の皆様）左より
金澤様、西口様ご夫妻、ジャ
パンフラワーセレクション実行
協議会・月山様、
後列左より
黒木常務理事、永田副会長、
長岡会長、柴田道夫審査委員
長、柴田貢副会長

表彰式ののち受賞者による記念講演
が行われました。初めに、園芸が定着
していなかった地域で花を育てて地域
活性化に貢献し、花育種、後継者育成

に力を注いだ金澤美浩様、次に江戸時
代から明治時代に日本各地で作られた
植木鉢の収集と来歴調査を行って冊子
にまとめ園芸文化の研究・保存を続け

ておられる西口郁夫様、孝子様ご夫妻
（講演者は西口郁夫様）、最後に日本の
花き業界初となる全国規模の新品種コ
ンテストを 2006 年にスタートさせ、
新品種の普及・育種振興・育種家の地
位向上に寄与したジャパンフラワーセ
レクション実行協議会（事務局の三井
直子様）にご講演いただきました。園
芸に関することでも分野が色々あり興
味深いお話ばかりで園芸の奥深さを知
りました。

記念講演が終了して懇親会へと移
り、会場にはいくつもの話の輪ができ
て楽しい歓談の場となり、和やかに時
間が過ぎ、名残惜しさもありながら閉
会となりました。

（南場）



金澤様 賞状を手にニコリ



受賞のあいさつをする西口孝子様



記念講演で講話する西口郁夫様



懇親会の様子

令和 7 年度定時総会議案書

協会としての取り組み

物価高騰や気候変動など社会を取り巻く環境が厳しさを増すなか、園芸による文化の進展に努めるとともに、通信手

段の見直しやペーパーレス化の推進など社会課題の解決にも積極的に取り組みました。

事業への取り組み

ホームページをリニューアルしました。また、園芸文化を創った花を紹介する園芸セミナーや創立 80 周年記念事業として、記念寄稿集の発行、80 周年を祝う会を開催しました。

第 1 号議案 令和 6 年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、財産目録の承認

貸 借 対 照 表			
令和 7 年 3 月 31 日 現在			
(単位:円)			
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	727,168	1,306,686	△ 579,518
未収金	207,976	1,122	206,854
前払金	68,660	68,660	0
流動資産合計	1,023,804	1,396,468	△ 372,664
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他の固定資産			
電話加入権	75,000	75,000	0
敷金	352,000	352,000	0
その他の固定資産合計	427,000	427,000	0
固定資産合計	427,000	427,000	0
資 産 合 計	1,450,804	1,823,468	△ 372,664
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	218,000	4,295,000	△ 4,077,000
未払金	568,170	0	568,170
預り金	457,172	30,425	426,747
流動負債合計	1,243,342	4,325,425	△ 3,082,083
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	1,243,342	4,325,425	△ 3,082,083
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	2,709,419
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	0
正味財産合計	207,462	△ 2,501,957	2,709,419
負債及び正味財産合計	1,450,804	1,823,468	△ 372,664

正味財産増減計算書			
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで			
(単位:円)			
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 増減の部			
(1) 経常収益			
会費収入	5,287,500	5,129,000	87,500
個人会費収入	1,157,500	1,190,000	△ 32,500
団体会費収入	290,000	190,000	100,000
賛助会費収入	3,740,000	3,740,000	20,000
事業収入	6,586,812	4,346,020	2,240,792
寄附金収入	0	0	0
運営セミナー収入	2,653,500	1,898,100	755,400
運営活動支援収入	2,797,812	2,248,920	548,892
運営・研究事業収入	0	0	0
新聞コンテンツ収入	0	0	0
所会事業収入	1,745,000	289,000	1,456,000
受取寄附金	5,061,000	961,700	4,099,300
雑収益	888	5	883
受取利息収入	888	5	883
雑収入	0	0	0
経 常 収 入 計	16,894,610	19,417,725	6,386,885
(2) 経常費用			
事業費	13,140,913	11,848,797	2,092,096
給料手当	3,762,891	3,762,891	0
臨時雇賃金	75,300	0	75,300
福利厚生費	11,172	11,390	△ 218
会議費	91,087	28,265	62,822
旅費交通費	185,327	68,991	116,336
通信運搬費	1,295,652	1,283,903	11,749
消耗品費	270,242	847,848	△ 577,606
印刷製本費	424,307	182,679	241,628
光熱水料費	175,123	176,449	△ 1,326
賃借料	4,338,630	3,576,172	762,458
保険料	0	27,260	△ 27,260
雑費	370,168	397,549	△ 27,381
支払利息	16,612	13,879	2,733
雑支出	1,633,496	952,379	681,117
経費	85,119	21,857	63,262
費 用 計	994,278	972,700	21,578
経 常 収 入 計	14,095,391	12,802,407	2,073,784
経 常 活 動 支 出 計	0	0	0
経 常 収 入 計	2,709,419	△ 1,603,682	4,313,101
正味財産増減計算書	△ 2,501,957	△ 898,275	△ 1,603,682
正味財産期末残高	207,462	△ 2,501,957	2,709,419

正味財産増減計算書(内訳書)				
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで				
(単位:円)				
科 目	公益目的事業合計	社会事業合計	法人合計	内訳科目合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常収益				
会費収入	4,507,500	0	790,000	5,297,500
個人会費収入	517,500	0	640,000	1,157,500
団体会費収入	190,000	0	100,000	290,000
賛助会費収入	3,740,000	0	3,740,000	3,740,000
事業収入	4,850,512	1,745,000	0	6,595,512
寄附金収入	0	0	0	0
運営セミナー収入	2,653,500	0	0	2,653,500
運営活動支援収入	2,797,812	0	0	2,797,812
運営・研究事業収入	0	0	0	0
新聞コンテンツ収入	0	0	0	0
所会事業収入	0	1,745,000	0	1,745,000
受取寄附金	4,737,123	9,597	254,278	5,001,000
雑収益	888	0	0	888
受取利息収入	888	0	0	888
雑収入	0	0	0	0
経 常 収 入 計	16,894,610	1,754,597	994,278	18,643,485
(2) 経常費用				
事業費	11,386,314	1,754,597	0	13,140,911
給料手当	3,762,891	0	0	3,762,891
臨時雇賃金	75,300	0	0	75,300
福利厚生費	11,172	0	0	11,172
会議費	91,087	17,267	0	108,354
旅費交通費	185,327	3,505	0	188,832
通信運搬費	1,297,452	360,296	0	1,657,748
消耗品費	272,343	137,963	0	410,306
印刷製本費	228,193	196,114	0	424,307
光熱水料費	175,123	0	0	175,123
賃借料	3,863,213	877,739	0	4,740,952
保険料	0	0	0	0
雑費	370,168	280,000	0	650,168
支払利息	16,612	1,439	0	18,051
雑支出	1,633,496	365,000	0	1,998,496
経費	85,119	0	0	85,119
費 用 計	994,278	994,278	0	1,988,556
経 常 収 入 計	14,095,391	12,802,407	0	26,897,798
経 常 活 動 支 出 計	0	0	0	0
経 常 収 入 計	2,709,419	△ 1,603,682	0	1,105,737
正味財産増減計算書	△ 2,501,957	△ 898,275	0	△ 3,400,232
正味財産期末残高	207,462	0	0	207,462

財 産 目 録			
令和7年3月31日現在			
(単位:円)			
資産・負債科目	場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)			
現金	千代田県	運転資金として	230,399
預金	普通預金		442,723
	三菱UFJ銀行	運転資金として	240,870
	みずほ銀行	運転資金として	201,853
	郵便貯金口座		54,046
	ゆうちょ銀行	運転資金として	54,046
未収金	賛助会員企業 他	公益目的事業に供する賛助会費及び広告料等の未収分	207,976
前払金	事務局賃借料等	公益目的事業に供する経費の前払分	68,660
流動資産合計			1,023,804
(固定資産)			
基本財産			0
特定資産			0
その他固定資産			427,000
	電話加入権	公益目的事業とその他の事業(相互扶助等事業)及び管理運営の用に供している	75,000
	敷金	公益目的事業及び管理運営の用に供している	352,000
		固定資産合計	427,000
		資産合計	1,450,804
(流動負債)			
前受金	会費等	令和7年度会費	218,000
未払金	会報制作費及び職員給与等		568,170
預り金	職員等	源泉徴収分	457,172
流動負債合計			1,243,342
(固定負債)			
固定負債合計			0
負債合計			1,243,342
正味財産			207,462

* 園芸文化協会のボランティア活動

シンボルプロムナード公園内 情熱のローズガーデン

理事 杉井志織

《6月14日》

あじさいフェア開催で、ボランティアとのコラボ企画や試験栽培の補植など、忙しい活動日でした。色々なアジサイが咲き始め、ガーデンは心地よい雰囲気です。

《7月12日》

暑さもあり、軽めの作業…のはずでしたが、急遽公園内にアジサイの定植を行いました。初めて植える低木植栽は大変な作業でしたが、今までの経験と実力を発揮し、見事な手際で植えられました。素晴らしい手際の良さに大感動の活動でした。



《8月9日》

肥料による立ち枯れを観察し、施し方を再確認。ゲリラ豪雨対策の支柱や樹形を整えるデザインテクニックを伝授。地面もナメクジの巣にならないよう細やかに整えました。



「情熱のローズガーデン」は、りんかい線「東京テレポート」・新交通ゆりかもめ「青海」の駅近くにあります。ぜひお出かけください。

晴海ふ頭公園 五輪植栽の花壇

理事 杉井志織

《5月24日》

夏花壇の植え替えをしました。暑さや乾燥に強い植物を選び、アンゲロニアの黒花やカラーリーフも活用。酷暑に耐える植え方をしました。五輪カラーの美しい花壇が、夏の暑さに負けず元気に咲き誇ることを願っています。

《6月28日》

大きく育ちすぎたガザニアの切り戻しをしました。花がらつみも兼ね、株元が蒸れないようコンパクトに。ベス



トシーズンに花数が増えるよう管理しやすくするのが目的です。

《7月26日》

活動時間が今月から午後。暑い時間でしたが、活動終了時には心地よい海風を感じました。植え傷み箇所へ補植。根付くか不安ですが、うまく育っ

てくれると嬉しいです。

晴海ふ頭公園「五輪植栽の花壇」へは、東京駅や有楽町駅など主要駅を発着する都営交通や都バス、都心と臨海地域を結ぶ BRT などが便利です。近くに見晴らしのよいカフェもあります。ぜひお出かけください。



新宿御苑・丸花壇

常務理事 奥 峰子

4月28日に植え替えた花壇は、満開をすぎた6月30日に夏の花に衣替えをしました。

今年の夏も暑いだろうとは思っていましたが、想像以上です。しかし、8月4日、18日にボランティアの方々も集まって下さり、メンテナンスをし



6月

ました。ペンタス‘ギャラクシー’、ユーフォルビア‘ダイヤモンドフロスト’、ジニア‘プロフュージョン’、トレニア‘カタリナブルーリバー’は元気に育ってくれたので一安心でした。

暑い中でも大きく育ったのは花だけではなく雑草もでしたが、汗をかきかき皆で除草して、それぞれの花にしっかりと日が当たるようになりました。

今回の花壇材料の組み合わせは、夏の暑さに強いものを選んだのはもちろんのこと、ポイントはジニア‘プロフュージョン’を八重咲き品種の‘ダブルホットチェリー’と一重咲きの‘チェリーバイカラー’の2品種を使ったことです。一重咲きより八重咲きの方が圧倒的に花がらが目立ちにくいこと、そして同系色でも2品種を混ぜて使うことで僅かなグラデーションが楽しめるので2品種をミックスで植えました。



6月



8月

今年は昨年と異なり9月にもう一度植え替えをすることとなりましたので、今回はさわやかな色合いとし、9月には秋色のカラーコーディネイトとします。

荒川区立宮前公園

常務理事 奥 峰子

宮前公園はバラを中心としたガーデンなので、6月はバラの花がら切りに追われます。今年も良く咲いて多くの方が楽しんでくださいました。前号でもご紹介したように、5月8日に定植した四角花壇も花盛りとなりました。

7月8月はあまりの高温のためサ

ポーター活動はお休みになってしまいましたが、その名の通り夏の花が主役のサマーボーダーでは、ルドベキアが元気いっぱい咲いてとても夏らしい色合いの植栽が人気となっています。特に日本ではあまり使われていないトリトマを数品種使っているのも宮前公園の特徴でもあります（詳しくお知りになりたい方は、園芸雑誌「Garden & Garden」Vol.94（2025 Autumn）をご覧ください）。

完成して4年目を迎えた宮前公園は、少しずつ木々も大きくなりガーデンと



6月

バラの花がら切り

しての風格が出はじめました。これからの季節は夕方もおすすめです。ぜひお越しください。



5月のバラ



四角花壇



サマーボーダー

～園芸文化を育んだ花～ べらぼうな花たち外伝(第1回)

日にち：7月31日(木)

会場：東京都美術館講堂

講師：常務理事 小笠原誓

大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」に連動した特別講座「べらぼうな花たち外伝」の第1回を開催しました。蔦屋重三郎の出版プロローグから始まり、彼の初出版『一目千本』の革新性をご紹介しました。さらに、日本が誇る百合の多様性や、松平定信が愛した蓮の逸話、江戸庶民の桜花見文化まで、浮世絵や園芸書を通じて、江戸の花と人の物語を鮮やかに描き出しました。

江戸の出版界に革命を起こした蔦屋重三郎。その初出版『一目千本(華すまひ)』は、遊女を花に見立てた斬新な評判記です。似顔絵ではなく植物画で構成され、春夏秋冬の花122種に遊女の名を重ね、乾坤に分けて東西対決の趣向まで凝らした粋な演出が施されています。さらに、妓楼や遊女から出資を募り、彼女たちが客に「私はこの花」と手渡す仕掛けもありました。吉原限

定で販売を展開した出版戦略は、まさにプロデューサー蔦重の手腕の真骨頂です。講演では、江戸の美意識と商才が融合した一冊の魅力を余すところなく語りました。『一目千本』で紹介された植物122種と花魁122名の一覧表は、皆さまにお持ち帰りいただき、大変ご好評をいただきました。

江戸の花文化に息づく百合の物語では、美しさと食用、そして奇花の記録まで幅広くご紹介しました。『訓蒙図彙』や『救荒本草』に描かれた百合の姿から、帯化した「扇子百合」、絵手本に登場するタメトモユリまで、歴史と美術が交差する魅惑の世界を紐解きました。俳句と浮世絵に宿る情緒もご紹介し、江戸時代に庶民が使っていた竹製の如雨露(ジョウロ)も画像を交えてご覧いただきました。

江戸の人々が心躍らせた「花見」の文化については、桜が庶民の楽しみとなるまでの歴史を、豊富な史料とともに紐解きました。広重らの浮世絵に見る庶民の

風景も交え、花と人の物語を軽妙に語る講演となり、大変ご好評をいただきました。

江戸の蓮文化を語る上で欠かせないのが、寛政の改革を行った松平定信です。彼が築地の別荘「浴恩園」で百種以上の花蓮を一瓶ずつ丁寧に育てた逸話は、講演でも大きな反響を呼びました。混植を避け、一種ずつ植えるという貝原益軒の教えを忠実に守った定信の姿勢は、園芸への深い愛と知性の象徴です。『清香画譜』に描かれた蓮の美しさと、江戸庶民が不忍池で楽しんだ蓮見の風景が重なり、花と人の物語が鮮やかに蘇りました。

(丹羽)



「みんなの緑学」令和7年度前期

酷暑も花をあきらめない！ スペシャリストから学ぶ酷暑 を乗り切るコツとテクニック

会場：緑と水の市民カレッジ(日比谷公園)

長年親しまれてきた「みんなの緑学」講座が、リニューアル。これまで土・肥料・病害虫対策などを中心に展開してきましたが、内容を一新し、前期は「酷暑でも花を楽しむ」をテーマに、3つの視点から各分野のエキスパートにお話しいただきました。

猛暑が常態化する今、夏でも園芸をあきらめないためのヒントが詰まった3回シリーズ。参加者の関心も高く、園芸愛好家はもちろん、造園業、ガーデンセンター関係者、地域の花壇ボランティアまで、幅広い層の方にご参加いただきました。

第1回 花選び・真夏に強い花とラク できるメンテナンス

日にち：5月30日(金)

講師：(株)ハクサン 藤原雅志

(株)ハクサンの藤原雅志さんから、近年の気象傾向を踏まえた、暑さ・乾燥・雨にも負けない夏の最強品種を教わりました。そのなかでも「エボルブルスブルーラグーン」と「コンフレナ(センニチコウ)ラブラブラブ」は耐暑性・耐乾性・耐雨性を兼ね備えた注目品種で、この2品種のうちひとつが参加者



第1回 5月30日

に渡されました。実際に酷暑の中で育ててみる楽しみもご提供いただきました。「頑張らずに、あきらめずに」—そんな言葉がぴったりの、夏のガーデニングを応援する内容でした。

第2回 こだわりの極意・有島流見た 目にもこだわった暑さから鉢 植えを守る極意と管理のコツ

日にち：6月27日(金)

講師：ローズライフアドバイザー 有島薫

ローズライフアドバイザーの有島薫さんが、自邸の庭を例に、暑さ対策と美しさを両立させる極意をご披露くださいました。バラ、クリスマスローズ、パンジーなどが鉢から溢れるように咲くその技術は、遮熱対策も含めて見事の一言。配色、配置、見せ方に至るまで、ため息が漏れるほどの美しさ。見た目も機能も妥協しない有島流鉢植え管理術に、参加者からは「すぐに真似した

い！（でも出来るかなあ）」の声が続出
でした。

第3回

植物を守る・葉焼けや病害虫 から植物を守る効果的な方法

日にち：7月25日（金）

講師：KINCHO 園芸（株） 牛迫正秀

「牛ちゃん」こと牛迫正秀さん（KINCHO 園芸（株））が、酷暑下でも植物を葉焼け・病害虫・乾燥から守り、健康を保つための資材や実践的なテクニックを紹介してくれました。遮光ネットやマルチングの比較、水やりのタイミングや方法、注目のバイオスティミュラント資材の活用法、そして夏に多発する病害虫への対処法まですべてを網羅した内容でした。参加者には活力液「X-ENERGY」がプレゼントされました。セミナー後、皆さんご自宅でも継



再2回 6月27日

続的なケアを実践されていることでしょう。

セミナーで得られた知識と技術は、参加者それぞれの現場で活かされ、地域や職場への波及効果も期待ができそうです。酷暑の中でも、花と向き合う時間をあきらめない—そんな思いを共有できるセミナーでした。

（丹羽）



第3回 7月25日

「みんなの緑学」令和7年度後期 参加者募集中！

「酷暑」の次は「冬対策」。「みんなの緑学」令和7年度後期の開催がきました。冬こそ始めどき！スペシャリストに学ぶ「今から始める庭づくり」講師は引き続き、前期の3人をお願いします。ただいま参加者募集中です。内容・日程等詳しくはp11 または別紙チラシ・協会ホームページをご覧ください。人気講座につきお申込みはお早めに。

ガーデンボランティアのための 講習会 2025-2026

会場：東京港埠頭株式会社会議室

酷暑を乗り切る！真夏に強い花 とラクできるメンテナンスのコツ

日にち：6月14日（土）

講師：（株）サカタのタネ 堤洋祐

（株）サカタのタネの堤洋祐さんをお迎えし、「猛暑を乗り切る！」をテーマに、真夏のガーデニングに役立つ知識とおススメの花をご紹介いただきました。冒頭、近年の酷暑の背景にある気候変動に触れながら、



6月14日

植物の原産地や気候帯ごとの植性を理解することの重要性を丁寧に解説。理論的な裏付けに基づいた話に、一同「なるほど！」と納得でした。さらに、「サンパチェンス」や「ビューティカル」など、暑さに強く、手入れも簡単な注目品種を紹介いただきました。水やりのタイミングやメンテナンスの工夫など、日々のガーデニングにすぐに活かせる実践的なアドバイスも満載で、初心者からベテランまで幅広い層に響く大満足の内容でした。

夏もあきらめない花壇づくり

日にち：8月9日（土）

講師：理事・ボランティア専任講師
杉井志織

今年で4年目を迎えたボランティア講習会。ついに、専任講師の杉井志織さんを講師に迎えた待望の講習会が開催されました。「土づくり」「水やり」「植物えらび」「失敗しないタイミング」の4つに分けてお話しされましたが、猛暑の中でも花壇を美しく保つための超実践的な内容が満載で目からウロコでした。例えば、テレビで紹介される定番の園芸品に対して「私は〇〇土は使いません。なぜなら…」と、杉井さんの意見と



8月9日

その理由を丁寧に解説され、「A社の●●は暑さには強いけれど花つきが今ひとつ。B社の●●は…」といった品種ごとの特徴や選び方についても、豊富な経験をもとに比較しながら紹介いただきました。参加者からは「本音が聞けてとてもよかった」「実際に使える知識ばかりで勉強になった」といった声が多数寄せられました。参加者は「暑さに負けず、花壇づくりを楽しもう！」という気持ちになったのではないのでしょうか。

（丹羽）

「ガーデンボランティアのための講習会」はボランティアに参加していなくても受講可能です。今後の予定はP11またはチラシ、ホームページをご覧ください。

【江戸の園芸で遊ぶ】@名古屋

日にち：5月18日(日)、
6月29日(日)、7月20日(日)

会場：名古屋園芸3階教室

講師：常務理事 小笠原誓

20年近く名古屋園芸で開催されている大人気セミナー【江戸の園芸で遊ぶ】がこのたび園芸文化協会のために特別開催されることになりました。講師はNHKテレビ「あさイチ」「趣味の園芸」などでもおなじみ、当協会常務理事の小笠原誓さんです。ご父君で当協会元会長の小笠原左衛門尉亮軒さんが長年にわたり収集された江戸時代の



和本・刷り物・浮世絵・絵巻物・図譜など国会図書館や博物館でしか見ることが出来ない貴重な資料の数々を特別に公開いただきます。5月は「花菖蒲」、6月は「薔薇」、7月は「蓮」と参加者の要望に応え、杉浦非水の『百花譜』を公開いただきました。資料は実際に手に取ってご覧いただけるうえ、写真撮影も可能です。冒頭に資料の筆者や描かれた植物についての解説があり、そのあとは各自自由にご覧いただきます。愛知県内はもちろん、東京・岐阜・香川・金沢など全国からご参加いただいております。小笠原さんによるここでしか聞けない貴重な裏話（内容はヒ

【江戸の園芸で遊ぶ】@名古屋 2025年度〈秋冬〉開催決定！

10月から【江戸の園芸で遊ぶ】@名古屋 2025年度〈秋冬〉が始まります。各回ごとの申込みが可能ですが、全5回まとめてお申込みいただくと参加費がお得になります。参加者募集中です。詳しくはp11 または別紙チラシ・協会ホームページをご覧ください。

ミツ)も秘かな楽しみのひとつ。指先から伝わる歴史と文化に浸りながら、心豊かなひとときをご堪能いただけることでしょう。

(丹羽)

広がる園芸の輪 後援活動

園芸文化協会では、「園芸活動支援事業」の一環として、年間20件近いイベントに後援しています。

これらは園芸の魅力を広く社会に伝える重要な役割を果たしています。これからも園芸を通じた社会

貢献と文化の継承を目指し、さまざまな活動を支援してまいります。
(丹羽)

KIOI ROSE WEEK 2025 イベント
トークショー&ガイドツアー

バラと一緒にくらしを楽しむ

～東京ガーデンテラス紀尾井町 KIOI ROSE WEEK 2025

日にち：5月27日(火)

会場：赤坂プリンス クラシックハウス&KIOI ROSE GARDEN
(東京都千代田区)



元木はるみさん(日本ローズライフコーディネーター協会)、道恵さん(ボタニカルアーティスト)と玉置一裕さん(New Roses編集長)によるトークのあと、赤坂プリンス クラシックハウスを背景に咲くバラを、解説つきで観賞しました。

第46回上野・東照宮春のぼたん祭

日にち：4月5日(土)～5月6日(火)

会場：上野東照宮ぼたん苑(東京都台東区)



110種500株が咲き誇る上野東照宮ぼたん苑が期間限定で一般公開され、多くの方が訪れました。

連載

育てるだけが園芸じゃない

園芸道具を識る



② 剪定バサミ

副会長 柴田 貢

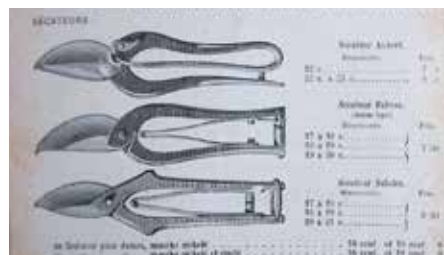
剪定バサミの歴史

剪定バサミは園芸家にとって樹木の整枝剪定に用いる大切な道具です。特に剪定を重要な作業とするバラの栽培家にとって、こだわりを持って使われている道具だと思います。

現在使われている剪定バサミは、明治維新後にヨーロッパから輸入された園芸バサミの一つとして普及しました。しかし、このハサミはヨーロッパでは園芸用に使用されていたものではなく、ブドウ畑での剪定用に使われた農業用のハサミで、フランス製やスイス製が多く、「プルーナー」と呼ばれていました。

このプルーナーは、太い枝も切れるように刃の部分が高く開くため、柄が広くなり、当時の日本人にとって大きすぎて使いづらいハサミでした。弊社の創業者・柴田真左衛門が横浜の輸入会社（現横浜植木株式会社）の依頼を受け、植木バサミの製造方法を基本にして、日本人の体格に合わせて小振りで生木が切りやすい刃にして、植物の剪定に特化した「剪定バサミ」として製造しました。

この真左衛門特選剪定バサミは、鍛造加工からホウ酸処理による刃付けなど、職人の勘と手作業で製造されています。また焼入れには「松炭」を使



フランス・ヴィルモラン社 1890年の園芸カタログより



ヴィルモラン社のプルーナー（左・中）と弊社真左衛門特選剪定バサミ（右）の大きさの比較

用しています。松炭はコークスなどと違い、硫黄成分を含まず、刃への影響がない炭として使用されます。最後に時計の歯車加工にも用いられる「手ヤスリ」で仕上げます。見た目の表面の荒々しさはそのためで、絶妙な使用感が味わえると、真左衛門も自慢しておりました。

現在の剪定バサミ

現在販売されている剪定バサミは、受け刃と切り刃が交差して枝を切るバイパスタイプと、片刃が動いて枝を切る（まな板の上で大根を切る要領）アンビルタイプがあります。また、柄や刃の形状を工夫したタイプの剪定バサミも販売されています。それらはみな、実際使用されている園芸愛好家のご意見をもとに改良されたものです。

使用する際の注意点

剪定バサミは片手で使用する園芸道具の中で最も頑丈に作られ、刃も丈夫です。太い枝が切れない時など、力任せに切断しようとすると、刃こぼれを起こしてしまうことがあります。一般的な使用の範囲では、刃の摩耗により切れ味が悪くなることはほとんどありません。切れ味が悪くなる最大の原因は、刃に付着する樹木のヤニなどの汚れや錆です。使用後は乾いた布で汚れを拭き、研ぎ棒などでヤニや錆を取り除くことで長く使用できます。



バイパスタイプの剪定バサミ



アンビルタイプの剪定バサミ

柴田 貢（しばた みつぐ）

柴田園芸刃物株式会社 取締役会長。社業の傍ら、業界団体の役員も務め、長年にわたり主に家庭園芸の普及に尽力。国土交通省大臣表彰(2008年)、黄綬褒章(2016年)を受章

今号のひと

よしだ ひろゆき
理事 吉田 浩之さん



昨年 6 月に理事に就任された吉田浩之さんは、(株)ミヨシの営業部門を率い、一年中国内外を飛び回っています。そんな多忙な日々にあっても業界団体が主催するイベント等にも積極的に協力するなど

業界の発展にも尽力されています。その手腕と行動力を当協会でも発揮いただいております。名実ともに「大きい人」と呼ぶにふさわしい存在です。

好きな植物は？ デルフィニウム

趣味は何ですか？ 旅行、観賞魚育成

座右の銘はありますか？ 一期一会

幸せを感じるのはどんな時？ 旅行先で美味しい料理に出会えた時、観賞魚の日々の成長です。

最近感動したことは？ 中国へ出張した時に味わった中国茶（白茶）の奥深さです。

尊敬する人は？ 父親

休日の過ごし方は？ 家族サービスと観賞魚水槽のメンテナンスです。

皆さんへのメッセージをお願いします

就活の時、魚好きの私は水産業界に行くべきか悩んだ挙句、何故か種苗業界に飛び込んで三十数年経ちました。今思えば、若き頃にエクアドルへ出張した際、自社育種したデルフィニウムをハチドリがホバリングしながら吸う姿に感動したことが、今も園芸業界に居続ける原動力だと思っています。今後も種苗メーカーの 1 人として、世界のすみずみに 1 粒のタネから生まれる新しい「きれい」を届けていきたいと思います。

草木のラッピングも礼法に従う

「包結図説」

伊勢安斎著

天保十一年

隠居 小笠原左衛門尉亮軒
<https://nagoyaengei.co.jp/> より

日本の礼法といえば小笠原流が知られている。本書もその流れを汲む一書である。

そもそも小笠原氏は新羅三郎義光から出て長清の時小笠原を称し頼朝に仕え、以来弓馬の術をもってきて之、南北朝のころ武者所にあった貞宗が足利尊氏に仕え、以降、流鏑馬（やぶさめ）、犬追物（いぬおうもの）、笠懸（かさかけ）、草鹿（くさじし）、大的（おおまと）など弓馬の政実を伝え、江戸時代になって元服（げんぷく）の次第（しだい）、酌（しゃく）、萬請取（よろずうけとり）、萬膳（よろずしつけ）、書札（しょさつ）など諸礼式作法を始め、年中行事の作法、立位振舞、家の諸道具の置き方、進物の包装、諸物の結びに至るまでその作法を説き故実家の祖として今日に伝える。

その一連の作法の一部分である「つむ」と「むすぶ」の部分の摘出しその本意を共に図示されたのが本書である。



著者は小笠原礼法の流れを汲む伊勢（いせ）安斎（あんさい）。天保十一年、京都静幽堂によって上（包）下（結）二冊として版行された。

本文を少し引用すれば

一、およそ進物を紙にて包む事高位の人はだんしを用ひらるべし 大なる物を包むには大なるだん紙小き物は小だんしを用ふ……

一、包みたる物を水引にて結ぶ事 白紅の水引を用ふべし 高位の人は金銀



の水引を用らるべし……

一、包たる物に其物の名を書付る事はなき事也 包紙の内の物の名数は目録に書く也……

一、物を包むには其物の紙の外へ少し見ゆるやうに両端を出して包む物也 何とも見えぬ様に紙の内へ包みこむ事あるべからず……

草木の包様は枝ものと草ものとは紙の折り様、水引の結び方も異なっている。

企画委員会（事業企画）より

「令和8年新春会員交流会」の7年ぶりの開催が決まりました。

日時：令和8年1月20日（火）14：00～17：00

会場：東天紅上野店

詳細は追ってご案内いたします。

セミナー実施報告

●江戸の園芸で遊ぶ@名古屋 令和7年度前期（全5回）

講師：小笠原誓（常務理事）

(1) 5月18日（日）参加：6名

(2) 6月29日（日）参加：6名

(3) 7月20日（日）参加：9名

●緑と水の市民カレッジ「みんなの緑学」令和7年度前期

酷暑も花をあきらめない！スペシャリストから学ぶ酷暑を乗り切るコツとテクニック（全3回）

(1) 5月30日（金）

花選び：真夏に強い花とラクできるメンテナンス 講師：藤原雅志（株）ハクサン 参加：41名

(2) 6月27日（金）

こだわりの極意：有島流見た目にもこだわった暑さから鉢植えを守る極意と管理のコツ 講師：有島薫（ローズライフアドバイザー） 参加：39名

(3) 7月25日（金）

植物を守る：葉焼けや病害虫から植物を守る効果的な方法 講師：牛迫正秀（KINCHO園芸（株）） 参加：34名

●ガーデンボランティアのための講習会 2025-2026（全4回）

(1) 6月14日（土）

酷暑を乗り切る！真夏に強い花とラクできるメンテナンスのコツ 講師：堤洋祐（株）サカタのタネ 参加：30名

(2) 8月9日（土）

夏もあきらめない花壇づくり 講師：杉井志織（理事） 参加：34名

●べらぼうな花たち外伝（全3回）

第1回：7月31日（木）

講師：小笠原誓（常務理事） 参加：50名

セミナー実施予定

参加者募集中です。詳細は別紙案内

またはホームページをご覧ください。

詳細は
こちら



●10月22日（水）13：30～16：00

最強のチューリップセミナー（第23回日比谷公園ガーデニングショー 2025 関連講座） 講師：奥峰子（常務理事） 会場：緑と水の市民カレッジ（日比谷公園） 参加費：2,500円（個人会員2,000円） 定員：50名

●11月15日（土）10：00～13：00

新宿御苑菊花壇展観菊会 2025 講師：小笠原誓（常務理事）、丸山秀諭（（一財）国民公園協会新宿御苑菊班） 会場：新宿御苑 参加費：3,000円 定員：40名 残席わずか

●江戸の園芸で遊ぶ@名古屋 2025年度秋冬（全5回）

10月26日：菊 11月23日：紅葉 1月18日：奇品 2月15日：椿 3月15日：蘭 いずれも日曜日 10：30～12：00

講師：小笠原誓（常務理事） 会場：名古屋園芸 参加費：個人会員2,700円 一般4,000円（他テキスト代220円） 定員（各

回）：20名

*全5回セットで申し込むと個人会員11,000円 一般16,500円（他テキスト代220円）

●緑と水の市民カレッジ「みんなの緑学」令和7年度後期

(1) 冬こそ始めどき！スペシャリストに学ぶ「今から始める庭づくり」（全3回）

① 11月20日（木）13：30～15：30

今が植えどき！進化系ペレニアル（宿根草）・シュラブ（低木）とガーデンシクラメン最前線 講師：藤原雅志（株）ハクサン

② 12月12日（金）13：30～15：30

庭を健やかに保つための「管理術」と病害虫・雑草の上手な対策 講師：牛迫正秀（KINCHO園芸（株））

③ 1月23日（金）13：30～15：30

開花力を引き出す「花咲かテクニック」と「こだわりの極意」

講師：有島薫（ローズライフアドバイザー）

会場：緑と水の市民カレッジ（日比谷公園） 参加費（各回）：2,000円（個人会員1,600円） 定員（各回）：50名

(2) 植物に寄り添う美しい庭づくりー英国の庭園と東京の公園から学ぶー（全2回）

① 11月26日（水）13：30～16：00

英国のウィンターガーデン

② 2月25日（水）13：30～16：00

東京都内のメドーガーデンの1年

講師：奥峰子（常務理事） 会場：緑と水の市民カレッジ（日比谷公園） 参加費：一般2,500円（個人会員2,000円） 定員：50名

●ガーデンボランティアのための講習会 2025-2026（全4回）

(4) 1月10日（土）13：20～15：20

プロに学ぶパンジー・ビオラの魅力と育て方 講師：笈川勝之（理事） 会場：青海フロンティアビル（東京港埠頭（株）内） 参加費（各回）：2,500円（個人会員、ボランティア：2,000円） 定員：30名

《編集》編集委員会：南場浩一 奥峰子 御巫由紀 丹羽理恵

DTP：清野典子

編集長の独り言

今年（令和7年）は終戦から80年になりますが、以前、ある園芸店店主から聞いた父上のお話が思い出されました。父上の時代は菊などの切り花を生産する花農家だったそうです。戦時中食料が乏しくなり、花栽培から食糧生産に切り替えるようにと通達があって、丹精込めて育ててきた草苗を処分するのは忍びなかったそうです。しかし、人目につかない所へ、種類ごとに少しずつ苗を植えて保存を図り、戦後はその苗を基に切り花栽培を再開しました。人目をはばかり苦勞をしてまで草苗を残したのは「今は花より食料と言われるが、戦争が終われば直ぐに花を要望されるはずだ。だから、花を絶やしてはいけないと、無理をして花苗を残した」とのことでした。世界は緊張の度合いが高くなっていますが、「花はいらない」という世の中を迎えたくはありません。

南場浩一



今よりもっと花や緑が身近な存在に
なれるよう

私たちJFIグループは
新しい花き流通を創造してまいります

東京都中央卸売市場大田市場花き部
株式会社フラワーオークションジャパン



〒143-0001

東京都大田区東海 2-2-1

切花部 TEL 03-3799-5526

鉢物部 TEL 03-3799-5435

株式会社市川フラワーオークションジャパン

〒272-0015

千葉県市川市鬼高 4-5-1

TEL 047-370-6701

日本の園芸を、未来につなぐ。



循環型資源の再生リンサンを使用 **5-35-5-16**

マダンプ eco 中粒 200g

草花・野菜・観葉植物・多肉植物に!
植えつけ・植えかえ時に土に混ぜこむだけ

株式会社 **ハイボネックス ジャパン** | <https://www.hyponex.co.jp>

SUNRICH
サンリッチひまわり

ひまわりで日本中に笑顔と元気を!

SUNRICH

サンリッチひまわり

創業 **190** 周年
もっと先へ、ずっとともに



タキイ種苗株式会社

<https://www.takii.co.jp>



柴田園芸刃物株式会社

ハイドロボール

- 大粒 (8~16mm)
- 中粒 (4~8mm)
- 小粒 (4mm 以下)



ご使用の際は、一緒に根腐れ防止剤
をお使いください

- **安全・清潔**
天然の凝灰質頁岩を主成分とし、臭いがなく、虫がわきにくい
- **あらゆる植物の培地として**
観葉植物はもとより、野菜やハーブなどの口に入れる植物の栽培にも利用できる
- **環境にやさしい**
こわれにくく、何度でも洗って使用できる

柴田園芸刃物株式会社 <https://shibata-engei.co.jp>